

- 1 円安になることで利益が増えやすくなる、海外へ製品を販売している企業を何という？
① 輸入企業 ② 小売企業 ③ 製造企業 ④ 輸出企業
- 2 外国の通貨に対して、日本円の価値が相対的に上がることを何という？
① 円高 ② 円安 ③ 株高 ④ 株安
- 3 日本円と外国の通貨を交換する際、1単位あたりの円の価値が下がっている状態を何という？
① 円安 ② 円高 ③ インフレ ④ デフレ
- 4 継続的に物価が下がり続け、相対的にお金の価値が上がってしまう経済状態を何という？
① デフレーション ② スタグフレーション ③ ハイパーインフレ ④ インフレーション
- 5 日本銀行が景気や物価を安定させるために、金利の調整などを行う経済上の取り組みを何という？
① 財政政策 ② 金融政策 ③ 公共政策 ④ 産業政策
- 6 日本銀行が日本で唯一発行を許可されている、紙幣（日本銀行券）を発行する銀行としての役割を何という？
① 発券銀行 ② 一般の銀行 ③ 政府の銀行 ④ 銀行の銀行
- 7 物価が継続的に上昇する中で、消費者が自分の持っているお金でどれだけのモノを買えるかという力を何といいますか？
① 供給力 ② 生産力 ③ 購買力 ④ 競争力
- 8 お金に余裕がある人から、必要としている人へ資金を融通する仕組みを何という？
① 金融 ② 財政 ③ 貿易 ④ 投資
- 9 円安が進んだとき、海外での売上を日本円に換算した際の受け取り金額が増加し、利益を得やすくなるのはどのような企業ですか？
① 輸出企業 ② 卸売業者 ③ 小売店 ④ 輸入企業
- 10 税金の受け入れや国の予算の管理など、政府の資金を取り扱う日本銀行の役割を何という？
① 発券銀行 ② 市中の銀行 ③ 銀行の銀行 ④ 政府の銀行
- 11 日本銀行がかつて金融政策の手段として用い、市中銀行への貸出金利の基準としていた金利を何という？
① 公開市場操作 ② 預金準備率 ③ 法定準備金 ④ 公定歩合
- 12 経済全体でモノの値段が継続的に上がり、貨幣の価値が相対的に下がってしまう現象を何といいますか？
① 手形 ② 株券 ③ 債券 ④ インフレーション
- 13 円高によって収益が悪化しやすい、製品を海外へ売る産業を何という？
① 輸入 ② 輸出産業 ③ 投資 ④ 消費
- 14 日本銀行の役割のうち、一般の銀行から預金を預かったり、資金を貸し出したりする役割を何という？
① 一般の銀行 ② 発券銀行 ③ 政府の銀行 ④ 銀行の銀行
- 15 日本銀行が、市中の銀行などと国債などを売り買いして、出回るお金の量を調整するやり方を何という？
① 信用創造 ② 公定歩合 ③ 預金準備率 ④ 公開市場操作

